

こんにちは
横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

2020年2月26日号 市政報告

日本共産党神奈川区事務所
横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：045-491-6843
FAX：045-491-6892
<http://www.usami-sayaka.jp//>

宇佐美 さやか です



横浜市長 中学校給食の実施を表明

市長による実施表明は初

林文子横浜市長は、2月21日の横浜市本会議で、「デリバリー給食の要望は高い。令和3年度からの実施を視野に学校給食法に位置づけたハマ弁にする」と表明しました。自民党市議らのデリバリー型給食の早期実現を求めた質問に答えたものです。

これまで教育委員会は、ハマ弁の給食化を示唆していましたが、市長による実施表明は、初めてです。

アンケート結果を重視

市長が理由にあげたデリバリー給食の要望は高いというのは、教育委員会が実施した生徒・保護者を対象にしたアンケートで、ハマ弁を給食に位置づけてデリバリー給食として提供した場合、保護者の約7割（週5回～月1回）が利用したいと答えたことを指しています。

市民が市政を動かした！

「自校調理方式」に向け力尽くす

あらき由美子党市議団長は、「自民党からデリバリーとはいえ、給食実施を求める声が寄せられたのは今日が初めてです。市民が市政を動かしたのです。デリバリー給食は全国的には不評で、多くの実施自治体が学校で調理する方式に切り替えています。自校方式を基本とした中学校給食こそ市民が求めるものです。その実現に全力をそそぎます」とコメントしました。

全国で広がる学校調理方式の中学校給食…横浜市も続こう！

日本共産党横浜市議団は、これまで、横浜での中学校給食の実施に向け、全国の優れた実践を調査し、議会で繰り返し取り上げ、実

施を求めてきました。市長や教育委員会は、小学校と同じ学校調理方式は「調理室を設置するスペースがない」「莫大な費用がかかる」などを理由に拒んできましたが、他都市では知恵と工夫を凝らして、豊かな実施を行っています。これからも市民の皆さんが望む給食になるよう力を尽くします。



さいたま市では、調理室を2階建てにして、スペースの問題を解消



宝塚市では、給食事業を民間委託せず直営で運営。2011年から、炊き立ての米飯を提供するため、各学校に炊飯設備を整備